

(様式 3)

女性農業者活躍促進計画

実施主体名	20～70 代までの女性による多世代参加型のビジネス
取組	女性が楽しく活躍できるよう農産物の生産から、加工品の製造、販売、流通、飲食店経営までを一括しておこなう。そしてその目玉として女性による女性の為の「ジーバースイーツ」の開発をおこないます。超高齢化地域を逆手にとり、ばあちゃん農家が若手の女性農業者に農産物の生産から加工までを伝授。スイーツの専門家による独自の商品を開発して、若手女性農業者が作る作物を弊社のじいばあがスイーツへと変身させます。「20代～70代までの女性の全世代参加型の多世代型協働」の仕組みを作ります。
構成員数	6名

1 事業実施方針

福岡県うきは市は主産業が農業の自然豊かな農村です。フルーツの生産が盛んでほぼ一年中なかしらのフルーツが採れることで有名です。弊社は75歳以上のおばあちゃんたちが働ける会社で、令和二年度の農水省主催のビジネスコンテスト「INACOME ビジネスコンテスト」にて日本一、最優秀賞を受賞させて頂いています。また福岡県庁主催のビジネスコンテストでも女性活躍の文脈で大賞になりました。評価頂いた点としまして、超高齢化地域でおばあちゃんたちの女性が活躍していること、そしてそのサポートに若い女性のサポートがあることで持続可能なところにあります。弊社の強みでもある農産物の生産から加工、販売、店舗経営までを女性の力でさらに盛り立てていこうと考えています。そこには自社開発のスイーツが重要な要となりますので、女性が生産して女性が作るスイーツブランドを構築します。そして最大のコンセプトとしては、農村の課題である超高齢化による農業者の担い手不足を女性のパワーと「20代～70代までの女性の全世代参加型の多世代型協働」の仕組みを作ることにあります。スイーツプランナーと仕組み作りの専門家を迎えこの取り組みを加速させます。この事業を通して、女性の働く場の拡充、いくつになってもおばあちゃんになっても働くことで輝くことが地域ということを証明します。さらにこの事業での女性の活躍を地域モデルとして全国各地に広めていきます。

(注) 具体的に記載してください。

2 女性農業者活躍に向けた実施体制

うきはの宝株式会社で現在生産しているフルーツ・野菜を使い、スイーツプランナーに協力してもらい自社スイーツ商品の開発をする。

○現在の連携状況

・地域のJAとの連携（フードロス・担い手不足解消のために連携）

JAで出ているB品、規格外品をうきはの宝株式会社で買い取り加工品にして流通販売をしています。年間100トン近くの農産物のフードロス解消に寄与しています。またJAさんと共に担い手不足の解消にプロモーション活動を共にしています。

・AGSA アグリガーデンスクール（有機農業・農業ビジネススクール）との連携。  
 国が推進している有機農業の推進。福岡県朝倉市の AGSA アグリガーデンスクールにて有機農法 BLOF 理論を学びながら、新規就農を目指す方との接点作りをしています。またスクールとの地域連携をおこなっています。こちらのスクールの卒業生を受け入れ検討しています。

・自治体との連携（農産物加工品の開発）  
 うきは市役所農政課とも連携して、農産物の加工品の開発などをおこなっています。また市の移住促進のお手伝いをしながら、移住者の受け入れもおこなっています。

・関連会社によるバックアップ（うきは農園株式会社）  
 弊社の関連会社うきは農園株式会社による技術指導や研修などでバックアップ。女性による女性新規就農者への教育や指導、研修を行う。うきは農園株式会社は、弊社代表取締役大熊充が経営する小規模農家の連合体です。

○構成員  
 男性 2 名、女性 4 名

（注）応募団体での受入体制や関係機関との連携状況等を具体的に記載してください。

第 4 の（1）の事業の応募者については、協議会等に属する構成員について 5 名以上の農業者（女性 1 名以上を含む）の氏名を記載してください。

### 3 女性農業者活躍のため実施している取組及び今後の取組

#### （1）女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
1.AGSA アグリガーデンスクール（有機農業・農業ビジネススクール）との連携。 国が推進している有機農業の推進。福岡県朝倉市の AGSA アグリガーデンスクールにて有機農法 BLOF 理論を学びながら、新規就農を目指す方との接点作りをしています。またスクールとの地域連携をおこなっています。こちらのスクールの卒業生を受け入れ検討しています。	目標 2021 年度 1 人（女性農業従事者） / 年	
2.農業体験・農業研修の実施 毎週末、農業体験と農業研修をおこなっています。延べ 2020 年度実績 312 名の方を受け入れました。就農を希望する女性は多数いらっしゃいま	体験・研修参加者 2020 年度実績 312 名 / 年	

す。今後は受け入れ体制並びに雇用を増やす体制を 2021 年度は強化したいです。	2021 年度目標 350 名 / 年	
--	------------------------	--

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
JA、うきは市農政課などの行政、地域と連携して女性農業者のサポートをしていきます。地域の既存の農業女子会や女性団体との交流を深めながら連携していきます。また JA 女性部との交流を通して商品のコラボ等もおこないます。	2021 年度目標 12 回 / 年 地域の既存女性農業者との交流会をおこなう。	

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(3) 女性農業者の活躍に向けた取組

内容	成果/目標	備考
福岡県庁主催のビジネスコンテストや農水省のビジネスコンテストで日本一になりました。女性活躍の文脈で評価されるよう取り組んできました。またメディアにも NHK を始めドキュメンタリー、民放各社、日経新聞、読売新聞、西日本新聞、紙媒体、Web メディア、合わせて年間 50 回以上女性活躍の取り組みを取り上げられました。メディアで取り上げられることで働く女性たちの自信にも繋がっています。また、注目されることで就農希望者の女性が弊社に訪れます。	2020 年度実績 女性の就農・面接希望者 10 名 / 年 2021 年度目標 15 名 / 年	
生産に留まらず、自身が作った農産物や農産物を加工した商品を直接消費者に販売して、直接声ももらい農業はお客様の口に入るまでを実感してもらい「やりがい」を高める。	マルシェ出店 2020 年実績 10 回 / 年 2021 年度目標 12 回 / 年	

(注) 農業委員等に選出された等、地域での活躍状況等を「内容」欄に具体的に、取組内容等を含め記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

4 女性の活躍推進対策事業を活用した取組の計画内容

(1) 地域の女性ネットワークづくり、女性グループ活動

【計画内容】

時期	内容（対象者・方法等）	備考
8月	8月からスイーツプランナーに来てもらいスイーツの商品開発をおこないます。	
9月～11月	仕組み作りの計画・コンサルティングを実施してもらいます。生産から流通、販路、女性活躍までを組み立ててもらいます。	
12月	開発した商品を販売いたします。収益を上げ新たな女性農業者の雇用に繋がります。	

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 働きやすい環境整備への支援

【計画内容】

時期	内容（対象者・方法等）	備考

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、第4の(2)の事業の応募者は、確保する施設等について5名以上の女性の利用者がいることがわかるよう記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの 女性農業者の新規確保人数	5人
(新規確保女性農業者の内訳)	
自営農業就業者 1人、雇用就農者 2人、アルバイト・ボランティア等 人	3人

(注) 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者(結婚を機に就農された方含む)、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等の農業関連事業を含む年間30日以上従事的女性とします。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含みます。

(別表 3)

## 審査基準

	審査項目 (採点基準)
実現性	① 事業計画の妥当性 本事業を実施する背景や、本事業で解決しようとする事項等、産地として将来の姿まで含めた事業の全体方針について具体的に描かれているか。
	② 実施体制 事業を的確に実施するために必要な実施体制、事業設備等、役割分担及び責任体制が明確になっているか。
	③ 地域の把握・分析 事業計画作成段階における地域の女性や女性農業者の状況について十分に把握・分析されているか。
	④ 成果目標の水準 具体的な数値目標等が設定され、その目標が高水準かつ実現性があるか。
	⑤ 事業の継続性 女性活躍の推進に向けた活動が、本事業実施期間終了後も継続的に実施される見込みがあるか。
	⑥ 実施主体の適性 事業実施主体の能力（専門的知見の有無や当該地域との関係性等）や関係機関との連携状況等から総合的に判断し、本事業による取組が実現できるか。
広域性	○ 支援対象 特定の農業者のみを対象とする取組でなく、5名以上の農業者がグループに所属、又は5名以上の女性の施設利用者を対象とする取組であるか。
波及性	○ 活動の普及の可能性 本事業による取組について、他の地域に波及することが期待できるか。
確保人数	○ 女性農業者の新規確保人数 ※女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者（結婚を機に就農された方含む）、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等を含む農業関連事業従事年間30日以上の方とします。